

2024年4月19日  
日本郵政株式会社

国立大学法人東京外国語大学と日本郵政株式会社が

「連携・協力に関する基本協定」を締結

～共創によって、地域貢献・社会貢献、国際交流の推進、スポーツ交流の推進等に寄与～

日本郵政株式会社（東京都千代田区、取締役兼代表執行役社長 増田 寛也）は、別紙「[日本郵政グループのスポーツへの取り組みに関する基本的考え方](#)」に掲げる「スポーツのチカラでニッポンをゲンキに！ powered by Team JP」に基づき、スポーツ文化の振興を推進しており、「女子陸上部」の持続的な強化に加え、スポーツに関連する多様な施策を通じてグループ社員の健康増進をはかり、社員の前向きな行動を通じて地域社会の活性化につなげるよう取り組んでいます。

この度当社は、上記の取り組みに関連し、昨年8月に東京都府中市と締結した「[スポーツ振興等に関する協働協定\\*](#)」をきっかけとして、同じ府中市にキャンパスを構える国立大学法人東京外国語大学（東京都府中市、学長 林 佳世子、以下「東京外大」）と2024年4月1日付にて「連携・協力に関する基本協定」を締結しましたので、お知らせいたします。

本協定は、昨年12月に当社と東京外大が締結した、日本郵政グループ女子陸上部と東京外大陸上競技部の「合同練習に関する連携協定」をさらに拡大し、地域貢献・社会貢献、国際交流の推進、スポーツ交流の推進等に幅広く寄与することを目的として締結されたものです。

今後、当社と東京外大は、東京外大の学生・教職員、近隣住民等を対象としたスポーツスクールやスポーツ講演会等の共同企画・実施、これらのイベントへの当社女子陸上部の選手（OG含む）・スタッフの指導者や講演者としての派遣、当社女子陸上部の外国籍選手と東京外大の学生等との国際交流の機会提供等の取り組みを通じて、つながりの創出と地域社会の活性化に貢献してまいります。

\* 同時に、府中市と日本郵便株式会社が「[地域活性化に関する協働協定](#)」を締結しました。

（2024年4月19日に行われた東京外大への表敬訪問模様）



（写真左から）東京外大 副学長 菊池 陽子、理事 成瀬 智、理事 木下 孝洋、学長 林 佳世子、日本郵政執行役 櫻井 誠、日本郵政グループ女子陸上部カリバ・カロライン選手、鈴木 亜由子選手、監督 高橋 昌彦



（写真）スワヒリ語の授業を受ける学生と交流するカリバ・カロライン選手